

# IISF NEWS

公益財団法人  
市原国際奨学財団

vol.3 DECEMBER 2024

愛知から世界へ、未来へ

## 交流会

2024年  
10月20日(日)



### 1 犬山城見学・犬山城下町散策

少人数のグループに分かれ、犬山歴史観光ガイドの説明を受けながら、実際に国宝犬山城の天守までの見学と、江戸時代と変わらない町割りがそのまま残る歴史的な建造物の街並みを見学しました。

#### 奨学生感想

現存する最古の木造天守である犬山城は、時代を超えて受け継がれた技術と美しさを今も維持しており、そのたたずまいには圧倒されました。天守閣からの眺めは、眼下に広がる木曾川の景色と相まって、過去と現在が繋がる瞬間を感じることができました。この景観を通じて、日本の歴史と風景がどのように調和しているかを再認識しました。

## 2 犬山小町にて、茶道体験

講師により茶道の歴史・マナー説明と茶道デモンストラーションにより抹茶を点てる流れの後、実際に茶道の中のお辞儀をはじめとする所作を一緒にしながら、作法体験を行いました。

### 奨学生感想

茶筌でお茶を点てるのは楽しかったのですが、きれいに泡を立てるのが予想以上に難しくて驚きました。自分では早く動かしているつもりでもなかなか泡が立たず、まだまだ練習が必要だなと思いました。お茶を点てるのも楽しかったのですが、お茶の道具や茶碗の柄がひとつひとつ違って素敵だなと思いました。



## 3 博物館明治村見学

明治期を中心とする60以上の歴史的建築物と歴史資料が展示されている野外博物館の見学を行いました。

### 奨学生感想

私は日本の伝統と近代の文化が融合した歴史や文化にとっても興味があります。日本の明治時代の建築は、中国の近代の民国時代の雰囲気に似ていて、非常に似通った感じがします。園内を歩くと、まるで近代の時代に生きているかのような気分になり、身を置いてその魅力に引き込まれました。一日を通じて、この交流会への満足感が最高に達しました！

